

【家庭教育支援チーム】



チーム名 (呼称)	中津川市家庭教育支援チーム (呼称: すくすくわくわくまあるいこころ)
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	中津川市内
活動範囲	中津川市内全域及び岐阜県内
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (子ども夢基金)
組織体制	41 人 子育てサポーター(岐阜県子育てマイスター) 41人、 内元 教員 2人、保育士 2人、看護師 1人
具体的な 活動内容	○乳幼児学級や小中学校家庭教育講座の企画運営、講師 ○各種講座開催時の集団託児・子育て支援活動・子育て相談 ○にぎわいプラザ子育て支援センター業務受託 他 年間延べ2,500名が中津川市のどこかで家庭教育支援活動を行っている。
活動を通して感 じていること (成果、課題など)	コーディネーターとして行政(生涯学習スポーツ課)がその活動を支援しているため、方針がぶれることなく活動することができる。家庭教育支援チームとして、保護者に寄り添い、その育ちを促す活動に重点を置くことを常に確認し合っている。活動していく中で、保護者が子育てについて「学ぶ機会」を求めている事がわかってきた。 課題として、市内13地域すべてにメンバーが居住していない為、細やかなサポート体制に欠けること、自主的な活動をしているが、資金不足で活動の範囲が狭められていること、また、拠点が明確でないことが挙げられる。

・子どもとの接し方の一つとしてわらべうた講習会を6回シリーズで開催

・読み聞かせキャラバン隊として市内各小学校や、ショッピングセンターで、親子30人から250人を対象に、また、指導者を対象に読み聞かせを行う。

・市主催の「子育てネットワーク交流会」のサポーターや集団託児を担う。

